

「正義の胸当て、平和の福音の備え」エペソ6：14-15

堀田修一 20・11・8

I 「腰には真理の帯を締め」：14。

1. 悪魔の性質＝偽り。神のご性質＝偽りが一切なく真実、真理そのもの。私達が心から信頼出来る方。

2. 悪魔の嫌うもの＝真理。私達が、悪魔の偽りに惑わされずに、真理（主ご自身・真理の御霊が与える主の御言葉）に立つ事が悪魔への勝利の秘訣！

3. それ故に、真理（新旧約聖書66巻の御言葉の真理）の帯を締めよう。武装の基礎。

II 「胸には正義（原語：ディカイオスネー、義、正義、公正、公平、信仰により神から与えられる義）の胸当て（内臓、心臓や肺等、大切な部分を保護する）を着け」：14。

1. 悪魔の性質＝不義、神と正しい関係の逆で「敵対者（ヘブル語でサタンの意）」、兄弟（キリスト者）達の告発者（黙示録12：10）。悪魔は、私達が自分の罪を神に告白し神に赦された後も、「おまえなんか失格者で赦されていない！」としつこく訴える、責める、落ち込ませる。悪魔の原語：中傷者、ざん訴（偽って他人を訴える、陰口）者。※私達が、神に罪を告白した後も、自分を責め続けたり、人を中傷し陰口、悪口を言う時、気づかないうちに悪魔に用いられている。気を付けて日々祈りたい→主の祈り＝「悪（悪魔）からお救いください」と。神のみことばで対戦すると勝利がある→「神は…私たちのすべての背きを赦し、私たちに不利な、様々な規定で私たちを責め立てている債務証書を無効にし、それを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました」コロサイ2：14

2. 悪魔の嫌うもの＝神の義、正しさ、神の目に正しい正義。

3. それ故に神の義、正義の胸当てを着けよう。

i まず、私達の罪の身代わりに刑罰を受けるため十字架で死なれた主を信じる信仰によって神の前に義と認められる義の胸当てが重要！「神に義と認められる」とは＝「私達が自分の罪の為に永遠の滅びに定められている中で、その定めがくつがえらされて、無罪の宣告を受け、神と正しい関係に入れられ、恐れることなく、神を呼ぶ者とされることを表すことば」（「救いについて」舟喜著）。「わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう」エレミヤ33：3。

ii 悪魔は、罪と弱さのある私達を攻撃する→「それでも、おまえは、クリスチャンか？」と。その時、私達は、自分の正しさ、正義では、たち打ちできない。私達は、完全ではない。私達の霊的な心臓、肺、内臓を守る胸当ては、私達の義ではなく、私達のために生涯、一つも罪を犯されず、父なる神に従われ、十字架で私達の身代わりに死なれたキリストという義、その主を信じる信仰により与えられる義。「あなたがたは、神によってキリスト・イエスのうちにあります。キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました」（Iコリント1：30）。※悪魔がしつこく責めて来る時の対処→「私がいただいたキリストの血、キリストの義が見えないのか！私を救い、罪を赦され、共におられるお方をどなたと心得る（承知する）！ここにいますのは、完全な償い主、偉大な神のひとり子、キリストなのだ！私は自分の不完全な義ではなく、キリストの完全な義によって救われているのだ！誰が何と言おうとも、私の罪を正直に告白する時、神ご自身が主の十字架の血の完全な償いの故に私を赦しきよめて下さるのだ！→土台の御言葉：「御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます Iヨハネ1：7。私は不完全な自分の義ではなく、完全な主の義に抛り頼む！」と言おう。「今や、私たちの神の救いと力と王国と神のキリス

トの権威が現れた。私たちの兄弟たちの告発者（悪魔）私たちの神の御前で訴える者が、投げ落とされたからである。兄弟たちは、子羊の血（十字架の血）と、自分たちの証しのことば（御子イエスの十字架の血による救いを信じます」との証し）のゆえに竜（悪魔）に打ち勝った」（黙示録12：10, 11）。

iii 義であるキリストとしっかり結びつく（礼拝、祈り、御言葉、主にある交わり）事により与えられる義、聖さを身に着けて歩む（テトス2：14）。

4. 地の塩（世の防腐剤の使命）、世の光（救いの光の主を証しする）として、社会的責任の使命を果たすために主の正義をもって社会の不正を正す。イエス様とパウロの模範＝イエスは彼（大祭司の下役に答えられた。）「わたしの言ったことが悪いなら、悪いという証拠を示しなさい。正しいのなら、なぜ、わたしを打つのですか」ヨハネ18：23。パウロは警吏たちに言った。「長官たちは、ローマ市民である私たちを、有罪判決をうけていないのに公衆の前でむち打ち、牢に入れました。それなのに、今ひそかに私たちを去らせるのですか。それはいけない。彼ら自身が来て、私たちを外に出すべきです」使徒16：37。祈りつつ判断力をいただき、神の正義を実現するのに近い政党、政治家に選挙で投票する。

Ⅲ「足には平和の福音の備えをはきなさい」：15。戦う時、はく靴は大切。

- ① 悪魔の喜ぶもの＝神に逆らう事、不和。混乱、無秩序。※今の世界の国々の特徴＝自己中心の分断。
- ② 悪魔の嫌うもの＝神との平和。神を中心とした人と人の平和。秩序のある平和。人々を救う福音。「福音は…信じるすべての人に救いをもたらす神の力です」ローマ1：16。
- ③ それ故に「平和の福音の備え」をはきたい。「平和の」＝神との和解。心の平安。「神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました」Ⅱコリント5：19。「福音」＝原語：良い知らせ。福音。「この福音によって救われます。…次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、三日目によみがえられたこと」Ⅰコリント15：2-4。「備え」＝原語：準備している事、用意の出来ている状態。準備、装備。福音をしっかりと理解し保ち伝える備えをし、まず聴き手となり、関係作りをし、信頼を得、与えられた機会を逃さずに伝えていく。悪魔は人々が救われる福音を最も嫌い、伝えるチャンスを邪魔するが、祈りつつ福音をしっかりと保ち備えをしておく、悪魔より強い聖霊なる神は、福音を伝えさせて下さる。聴く人の心も不思議に開いて下さる。私は、この46年間、その神の奇蹟を経験して来ました。※証し。「話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話される、あなたがたの父の御霊です」マタイ10：20。「御霊に満たされなさい」エペソ5：18が、すべての鍵、土台、愛と聖さと力の源。私達は、家族、知人、友人に素晴らしい福音を語る情熱を失う事がある。しかし、御聖霊は、滅び行く魂への情熱を再び与えて下さる。※人間的な情熱＝相手に圧迫を与える。御聖霊による情熱＝相手の心を動かす。この2千年間、もし、クリスチャンが、誰も福音を伝えなかったら、私達には福音は届いていないのです！感謝したい。主が、私達にも福音を伝える人を遣わして下さった恵みを。「聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか」ローマ10：14。私やあなたが伝えるべく主が出会わせて下さった人がいます。祈りつつ御聖霊の力で私達も福音を伝え、福音版、トラクトを渡し、また、福音が語られる礼拝、子どもステップ、ホームページが用いられますように。結果は主に委ねつつ、御霊による情熱をいただいて福音を伝える者として下さい。私達を命を懸けて救い、愛しておられる主の願いは、人々が福音を聞き、信じて救われ洗礼を受ける事です。悪魔は、その度に敗北しています。私達も福音を伝える備えが出来ますように。「私の心の願い、彼らのために神にささげる祈りは、彼らの救いです」ローマ10：1。主は「だれも滅びることなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです」Ⅱペテロ3：9